

大府市健康づくり総合支援施設

健康づくり身体活動支援センター（本年11月開館）



所 在	大府市東新町三丁目1番地の11	
開館予定	2026年11月	
開館時間	1階	健康づくり身体活動支援センター
	2階	第二レインボーハウス

大府市健康づくり総合支援施設は、市民一人ひとりが生涯にわたって健康でいきいきと暮らし、活躍できる地域づくりを進めるため「健康づくり身体活動支援センター」と長期欠席の児童生徒が安心して学び、社会的な自立に向けて成長できるよう支援する「第二レインボーハウス」を有する複合施設です。

【健康づくり身体活動支援センターの特徴】

- ・身体活動を基礎とした健康づくり
- ・保健師・理学療法士・健康運動指導士、公認心理師、管理栄養士の専門職を配置
- ・大学・研究機関・医療機関・企業・地域団体など、多様な主体との全国ネットワークを構築

5つの機能	内 容
健康づくり	市民が自らの健康状態を把握しながら、健康づくりに取り組める環境を整備するとともに、一人ひとりの状況に応じた継続支援を行うことで、市民の行動変容につなげます。 【主な事業】健康測定・評価、専門職による健康相談、運動・身体活動プログラム、栄養講座
交流	運動・身体活動に加え、音楽（バイオリン、コーラス等）、eスポーツ等の多様な機会を提供し、施設を利用する児童生徒等から高齢者まで、世代を越えた交流を促進します。 【主な事業】音楽（ロビーコンサート）、ポッチャ・モルック、eスポーツ、健康教育（睡眠等）、食育事業
地域づくり	施設を拠点に保健師等の専門職が地域へアウトリーチし、健康課題を把握するとともに、身近な場所で健康づくりに取り組める環境を広げ、まち全体で健康を支えあう地域づくりを推進します。 【主な事業】出張健康教室・健康相談、ウォーキング事業、地域の健康課題の把握・施策への反映
健康政策	大学、研究機関、医療機関、企業、地域団体など、市内外の多様な主体と連携した調査研究・実証事業を実施し、科学的根拠に基づく「健康都市」政策を推進します。 【主な事業】大学・企業との共同研究実証・モデル事業、健康データ分析、社会実装・政策展開
人材育成	施設を学生・生徒の実習・実践の場として活用します。大学等と連携し、教育・研究と地域での実践を結び付け、将来の健康づくりを担う人材の育成を図ります。 【主な事業】人間環境大学等の学生の受入、保健師等の専門職の育成、地域で活躍する健康人材の育成

『健康づくり』から『健康で活躍できる地域づくり』へ

身体活動を基礎に健康づくり・交流・地域づくり・健康政策・人材育成を一体的に推進する新たな「健康都市おおぶ」の中核拠点

近年、人生100年時代の到来や生活様式の変化により、身体活動の不足や生活習慣病、フレイル、認知症、転倒・骨折など、市民の健康課題は世代ごとに多様化しています。新たな施設では、身体活動をあらゆる世代の健康づくりの基礎と位置付け、大学・研究機関・医療機関・企業・地域団体など、多様な主体との全国ネットワークのもとで、健康づくり・交流・地域づくり・健康政策・人材育成を総合的かつ一体的に推進します。



大府市健康づくり身体活動支援センターの運営等に関する有識者会議

愛知県大府市出身で東京大学名誉教授の武藤芳照氏を委員長とし、健康・運動・看護・医療等の専門家で構成する有識者会議を設置し、施設の取組成果を継続的に検証・評価するとともに、施設運営の不断の改善・改革を進め、施設の取組の質の向上と更なる充実・発展を図ります。

